

令和2年度 伊勢原市清掃美化審議会 会議録

〔事務局〕 経済環境部環境美化センター

〔開催日時〕 令和2年10月19日（月） 午後2時～午後3時

〔開催場所〕 市立中央公民館 会議室A

〔出席した委員〕 9名

勝 田 悟
清 水 孝 一
武 蔵 郁 夫
稲 次 正 知
井 上 節 子
宮 崎 清
笠 原 浩
安 藤 十 藏
杉 本 隆

〔事務局〕

石 田 康 弘（環境美化センター所長）
秋 山 喜 則（環境美化センター収集業務係長）
曲 本 浩 一（環境美化センター資源循環係長）
栗 田 克 也（環境美化センター資源循環係主事）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 2名

〔経 過〕 次のとおり

1 開会

○事務局より、過半数の出席により、審議会が成立する旨を報告。また、本審議会が公開審議であること、個人情報の取り扱いについて説明した後、審議会配付資料の確認をする。

2 あいさつ

3 議事

【会長】 議題（1）ごみ排出量について事務局に説明を求める。

【事務局】 資料に沿って、令和元年度燃やすごみ排出量について説明した。

【会長】 議題(1)令和元年度燃やすごみ排出量について、委員の皆様から意見を求める。

【委員】 「プラ資源」のリサイクルとはどのような取り組みか。処理の経費を企業が負担するのか。

【事務局】 容器包装プラスチックに加えて、その他のプラスチック製のごみも一括して回収するよう国が市町村に要請する方針を固めたもの。近隣では海老名市や綾瀬市では実施しているが、資源化事業者が少ないため課題がある。国は、市町村に負担のかからない形で実施したいとしているが、拠出金などの仕組みについては、国が検討しているところである。収集するのは市町村の役割になり1台2,000万円ほどのコストがかかることになる。

【委員】 広報いせはら特集号では実績値に対する前年度との比較になっているが、環境衛生事業の概要では推計値との比較になっており分かりづらい。

【事務局】 実際には目標値より排出量を削減していくことが重要である。混同していて分かりづらい点があったが、分かりやすくするよう表記の方法を工夫したい。

【会長】 11月から木質系粗大ごみの資源化を開始するという話だが、詳細について説明してほしい。

【事務局】 粗大ごみの内、木質系粗大ごみを抜き出し、資源化事業者へ引き渡し、チップ燃料や再生パルプの原料とする取り組み。木質系の割合は約30%にあたり、年間でおよそ200トンの資源化につながる。11月から開始する予定。ただ、試算では30%としたが、実際に解体すると紙を圧縮したような素材でできている家具が多くあり、量については、試算を下回る可能性がある。

【会長】 議題(2)伊勢原市災害廃棄物等処理計画(案)について事務局に説明を求める。

【事務局】 資料に沿って、伊勢原市災害廃棄物等処理計画(案)について説明した。

【会長】 (2)伊勢原市災害廃棄物等処理計画(案)について、委員の皆様から意見を求める。

【委員】 仮置場の候補地について、広報などに掲載するか。小さくて分かりづらい。

【事務局】 広報に掲載する予定はないが、パブリックコメントでホームページや各公民館に資料を配架する予定である。掲載の方法については見やすくなるよう工夫したい。

【委員】 この計画は地域防災計画に位置づけられるのか。

【事務局】 災害廃棄物の処理については、もともと地域防災計画に位置づけられており、子易不燃物処理場が仮置場候補地となっていた。近年の災害の発生状況から単独の災害廃棄物等処理計画として策定するもので、廃棄物処理法基本方針に基づき策定する。

【委員】 衛生委員会の理事会では、新東名高速道路の高架下なども活用できないかという意見もあったが。

【事務局】 計画として位置づけるのは難しいが、被害状況によっては、そういった土地の活用も視野に入れていきたい。

【委員】 昨年の台風19号の時だったか、千葉県で災害廃棄物を搬入するのに大渋滞になっていたニュースを目にした。仮置場の候補地の選定には、交通アクセスも考慮

されているのか。

【事務局】面積を優先して選定している。市内8カ所に分散しているので、ある程度のバランスは取れていると考える。ただ、全てを仮置場として開設するのではなく、被害の状況をみながら開設していくことになる。仮置場には人員を貼り付けることを考えているが対応できる人員にも限りがある。

【会長】気候変動により台風や大雨など、地震以外に様々な被害に見舞われている。2018年には、気候変動適応法も制定・施行されている。本計画については、地震中心の内容になっているように思えるが、その他の被害への対応はどのように考えているか。

【事務局】全市に甚大な被害を与える地震での被害想定を基に災害廃棄物の発生量などを推計している。風水害などにおいては、この計画を応用して対応していきたい。

【会長】議題(3) その他報告事項について発言を求める。

【事務局】災害廃棄物等処理計画(案)のパブリックコメントを11月24日から12月23日まで実施する予定である。次回の審議会について、パブリックコメント終了後、来年1月に実施したいと考えている。別途ご案内させていただく。

【会長】これにて議事終了とさせていただきたい。

4 閉会